



CIO Advisory

サービスオファリング概要

Introduction

経済活動のグローバル化や規制緩和等に伴って地域や業種のボーダレス化が加速する中、企業競争における差別化と機動性の重要度がますます高まっています。また、技術進化の連鎖がもたらす社会全体のデジタル化に伴い、テクノロジー利活用の主導権は企業サイドからユーザーサイドへシフトしつつあります。

こうしたビジネスとテクノロジーを取り巻く近年の環境変化を受けて、企業のCIOおよびIT組織は、これまで同様にリスクやコンプライアンスを適正にコントロールしながら安定したサービス提供とコスト最適化を実現することに加え、海外展開やM&Aを加速させるためのテクノロジー・インフラの整備や、テクノロジーを起点とした抜本的なイノベーションの創出を求められるようになりました。

KPMGのCIOアドバイザーサービスは、広範に統合されたグローバル・テクノロジー・サービスを活かして、今日のCIOの幅広いチャレンジを支援します。KPMGのゴールは、リスク・ガバナンス・セキュリティ等の課題に向き合い、テクノロジーを活用したビジネス戦略を支援するとともに、急激な環境変化に伴う困難を切り開き、投資に見合う付加価値を高めることにあります。世界各国において、CIOアドバイザー領域のプロフェッショナルが以下のようなサービスを通じてクライアント企業を支援しています。

- ビジネスの“サポート”ではなく、“発展”に寄与するテクノロジーの利活用
- 効率的かつ効果的なテクノロジー・サービスの提供による企業成熟度の向上
- 無駄の排除とビジネスの加速を目的としたアプリケーション・ポートフォリオの最適化
- リスクとコンプライアンスの管理水準向上(サプライヤー管理、データ統合、セキュリティ、プライバシー、ガバナンス等)
- IT組織の戦略的ビジネスパートナーへの引き上げ

KPMGには、絶え間ないイノベーションに必要な洞察力和変革の推進力を有する経験豊富なプロフェッショナルが、数多く在籍しています。

KPMGは、変革をもたらす成果を追及するテクノロジー・リーダーを支援します。

Today's CIO Agenda

今日のCIOとIT組織はビジネスの成功に向けて、複雑かつ多くの課題とチャレンジに直面しています。

CIOが抱える5つの重点課題				
① ビジネス価値の創出	② ビジネス変化への対応	③ IT投資の最適化	④ ITケイパビリティの変革	⑤ 信頼性の高いITサービスの提供
CIOが直面しているチャレンジ				
ビジネス貢献度向上に対するプレッシャー イノベーションの加速	M&Aに伴うコスト削減やシナジーの創出 絶えず変化するビジネスの優先度への迅速な対処	枯渇するリソースと優先順位の曖昧なビジネス側からの要求 過剰なアプリケーションとオペレーション	重要なビジネス・ニーズに迅速に対応できるケイパビリティの欠如 組織運営に不可欠な情報やツールの不足	サイバー攻撃の脅威とそれに伴う事業影響 常に変化し、増加し続ける法的要求
CIOに求められる役割				
テクノロジーを活用してイノベーションや事業の発展を牽引する	ビジネス上の大きな変化(M&A、新規市場参入、アウトソーシング等)に対して期待通りの成果を創出する	事業の優先度に応じてIT投資ポートフォリオを最適化する(ROIの最大化)	デリバリーモデルを継続的に改善/最適化し、要求成果に応える	想定されるリスクに予防的に対処し、事業継続性を確保する

KPMGは、サービス・方法論・対象領域の専門スキルを通じて、CIOアジェンダへの取組みを支援します。

ビジネスとITの双方に精通したエグゼクティブとともに、既存テクノロジーの最適化やテクノロジーのビジョン策定を行い、中長期的なビジネス・アジェンダを支援し、組織・業務の変革による効率化や効果創出を推し進め、将来コアとなるケイパビリティの向上を支援します。

CIO Advisory - Service Offerings

①ビジネス価値の創出

CIOは、イノベーションや事業の重点施策を推進するためにテクノロジーを活用してビジネスを牽引することが求められています。KPMGは、将来起こりうる絶え間ない変化に適切に対処できるよう、俯瞰的な視点でクライアントのビジネスを支援します。KPMGのアプローチでは、CIOがIT組織を1つの事業として運営し、適切な情報とテクノロジーを備えた組織として、競争優位性の確保を支援します。



CIOが直面している主なチャレンジ

- ビジネス貢献度向上に対するプレッシャー
- イノベーションの加速
- 事業戦略の実現

代表的なサービス

- ITによる変革アジェンダ策定支援
- 事業効率のクイックアセスメント
- 業界・競合企業調査
- IT戦略策定
- 製品/サービス分析・拡大戦略
- 株主価値分析
- シナリオ分析
- デジタライゼーション推進戦略策定

②ビジネスの変化への対応

CIOはテクノロジーを通じてM&A・新規市場への参入・アウトソーシング化等の大きなビジネス変化の成果創出に貢献することが求められています。KPMGは、クライアントの戦略的なアプローチの中で、IT組織がこれらの変化への対応を支援します。



CIOが直面している主なチャレンジ

- M&Aに伴うシナジー効果の創出
- 絶えず変化する優先度への迅速な対応
- キャパシティの増減調整の難しさ

代表的なサービス

- M&A戦略策定・評価
- PMI (Post-merger integration)
- To-Beモデル策定支援
- ITガバナンス評価
- リーダーシップ・変化対応力評価
- ビジネス遂行能力の成熟度・IT活用度調査

③IT投資の最適化

IT投資ポートフォリオは、事業の優先度と密接に連携させ、投資対効果を最大化させる必要があります。KPMGは、テクノロジーの活用による事業戦略上の重点施策の実現とともに、利益や競争優位性の向上を支援します。新オペレーティングモデルの策定や定着化、アウトソーシングやシェアード・サービス化の適否に対する判断、アウトソース可能な業務やアプリケーションに関する意思決定、クラウド化の推進、データセンター管理、アーキテクチャーやインフラの最適化によるIT価値の向上などの支援を通じて、クライアントが抱くテクノロジーのビジョンを実践的で実現性の高いものとなるよう支援します。



CIOが直面している主なチャレンジ

- 要求事項や投資優先度の曖昧さ、および管理不足
- 高コストなデリバリー・サポートモデル

代表的なサービス

- IT予算・支出分析
- IT資金調達モデル評価
- ITサービスコスト分析
- IT資産価値・耐用年数評価
- ITコストの透明性評価
- ITサプライヤー管理
- ITサービスの市場ベース価格設定
- ITコストベンチマーキング
- ソフトウェアライセンス・保守の適正化

④ITケイパビリティの変革

CIOは、IT組織に対する成果や品質、コストに対するさらなる期待に応えるため、ITデリバリーモデルを最適な状態に維持・改善していくことが求められています。KPMGは、ビジネス成果の改善に向けた各種プログラムやサービスを確実かつ適正に実行できるようになることを目的とした、組織ケイパビリティの向上や効率的なリソース管理を支援します。



CIOが直面している主なチャレンジ

- ビジネスニーズへの迅速な対応力不足
- 組織運営に不可欠なツールの不足
- 有能な人材の獲得と維持

代表的なサービス

- ITケイパビリティ成熟度・リーディングプラクティス評価 (ITIL, COBIT等)
- ワークフロー／業務プロセス改善
- ツールの有効活用／統合
- 調達の有効性／ガバナンス評価
- クラウド活用度評価
- プログラム／プロジェクト管理の有効性評価

⑤信頼性の高いITサービスの提供

CIOは、事業中断による影響を極小化することを目的として、予防的にリスクをコントロールすることが求められています。KPMGは、CIOがコスト／成果／リスクの3点を適正なバランスに保ちながら、IT組織のケイパビリティを最大化することを支援します。KPMGグローバルネットワークの多様なリソースを活用し、ガバナンス維持やリスク低減、従業員や組織のパフォーマンス向上等を支援する幅広いサービスを提供します。



CIOが直面している主なチャレンジ

- サイバー攻撃の脅威
- プライバシーや機密情報保護への要求
- 絶えず変化する法的要求事項

代表的なサービス

- 大規模プロジェクト診断
- コンティンジェンシープラン策定
- ITセキュリティ&コントロール評価
- 一気通貫のテスト支援
- 法規制遵守への対応支援

従来の“サービスオペレーション”から“ビジネス価値の創出”へのシフト、サプライチェーン全体に最適な価値を提供するためのIT投資計画、IT投資対効果の最大化、ビジネス成果改善等において、KPMGはCIOアジェンダを強力に後押しします。CIOが好機を活用し、チャレンジに伴うリスクや負荷を軽減しながら、真のビジネスパートナーとしてIT組織の付加価値を実証していく道のを支援します。

Why KPMG?

Methodologies & Frameworks

KPMGには、長年の経験により蓄積され、数多くのプロジェクトで実証された豊富な方法論やツールがあります。

これら方法論とKPMGグローバルネットワークを活用し、クライアントの価値創出を支援します。

IT Strategy and Operating Model

Target Operating Model



変革ドライバーやトレンドを踏まえ、現状分析からあるべき姿の構想を経てロードマップ策定に至る、IT組織の変革方法論であり、クライアントのビジネスゴールを実現させるために、ITがプロセス、組織、テクノロジーへどのように絡んでいくかを明確にすることを支援します。

Service Management and Service Integration

IT Service Management Model



グローバルで蓄積されたITサービスマネジメントに関する知見とITILやCOBITなどの業界標準を融合した独自のフレームワークを用いて、ITサービスマネジメント機能の評価、設計、導入の効率的かつ効果的な推進を支援します。

Technology Infrastructure and Architecture

Enterprise Architecture Service



クライアントのビジネス戦略に沿った業務ならびにテクノロジーアーキテクチャーの定義を、体系化された方法論を用いて支援します。戦略を支える業務・テクノロジー双方のアーキテクチャーを明確に定義することで、不必要もしくは効果の薄い投資を避けることができ、また、より全体感を把握できるため、計画の実行リスクを最小限に抑制する効果が見込めます。

IT Capability Model Insights



グローバルで定義された企業のIT組織として確保すべき主要な機能・能力、それらを測るためのKPI、過去の経験から導き出されたベストプラクティスをまとめたフレームワークです。このフレームワークを用いてクライアントの現状とあるべき姿を比較し、IT組織の成熟度評価や改善施策の特定などを支援します。

Leadership in the Marketplace

CIOアドバイザーチームは、グローバルで最新の調査・研究、刊行を手掛けています。



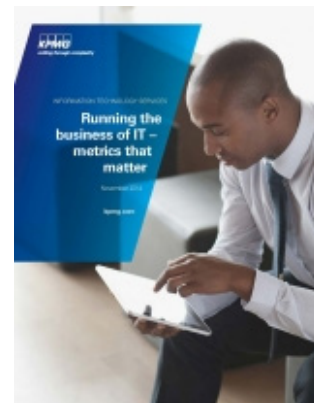
Digital disruption -
dive in to thrive



Next Generation
IT Operating Models



CIO's First 100 Days



Running the Business of IT
- Metrics that Matter

お問合せ先

KPMGコンサルティング株式会社

〒100-0004

東京都千代田区大手町1丁目9番5号

大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

TEL : 03-3548-5111

FAX : 03-3548-5114

kpmg.com/jp/kc

松本 剛 / Go Matsumoto

パートナー、CIOアドバイザー

go.matsumoto@jp.kpmg.com

石井 信行 / Nobuyuki Ishii

ディレクター、CIOアドバイザー

nobuyuki.n.ishii@jp.kpmg.com

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2016 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 16-1282

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.